

帝国主義と列強の展開 (その1)

帝国主義

性格: (独占) 資本主義のもとでの激しい (植民地) 獲得競争
時代: 19世紀後半...具体的には1870年代~ (第1次世界大戦) 開始前
背景: 資本主義の発達

(第2次産業革命) ...新しい動力源 (石油・電カ)
新しい労働力 (移民) の受け入れ (米)
新しい工業部門...重化学工業・電機工業・(アルミニウム) などの非鉄金属部門

特徴: 生産と資本の集中・独占

(巨大企業) -> (独占資本) の出現... (金融) (銀行) 資本と結びつく

形態: (カルテル) ...企業連合

(トラス) ...企業合同、米に多い -> 図p254右下の絵を参照

(コンツェルン) ...企業連携・財閥、独 (グループ) 社...軍需コンツェルン -> 図p268下の絵

日 (三井・三菱・住友・安田) など

競争: (植民地・勢力圏) を求めて対外進出 (世界政策) (世界分割)

軍備増強・ナショナリズムの高揚

独などの後発資本主義国は (再配分) (再分割) を要求

対立: 紛争はアジア・アフリカ地域で多発

-> 欧州では平和な時代...「パルジョック」(すばらしい時代)

結果: 第一次世界大戦

反動: (労働) 運動の激化 -> (社会) 主義の発展 -> 資本主義進展の反動として決まってくる

(民族) 主義運動...植民地支配に対する反発・抵抗運動

移民: 19Cは「移民の時代」

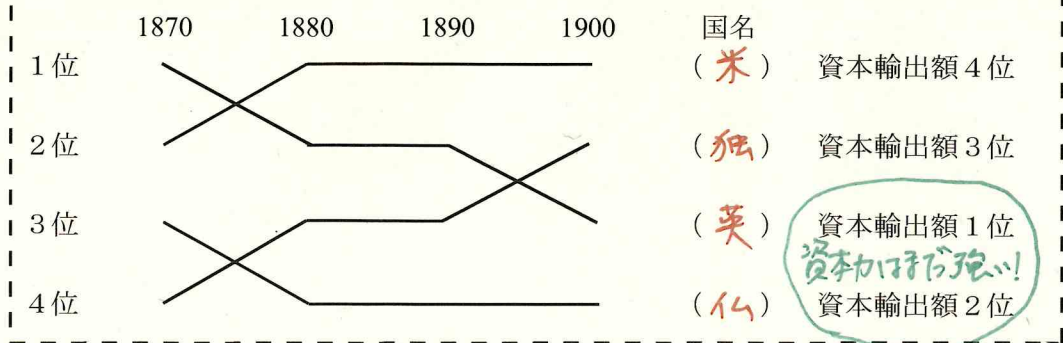
特にアメリカ合衆国への移民が急増 -> 米・英・露・南欧系が増加し始める

19C後半...西欧・北欧から米への移民が多い -> アイルランドの (ジャガイモ) 飢饉

20C始め...東欧・南欧系が主流となる 露: ユダヤ人排斥 (ポグロム)

次第にアジア系も増加していく 英: 露・ロシア 図p277

列強の工業生産力



イギリス

(対外) 米独の経済的成長を受け、「世界の工場」としての地位を失う

植民地・(経済力) は1位 -> 植民地との連携強化「世界の銀行」

白人系植民地は (自治領) として間接統治... (カナダ・オーストラリアなど)

( Дизレーリ ) 保守党内閣

1875 (スエズ) 運河株の買収

1877 (インド) 帝国成立...皇帝 (ヴィクトリア女王)

1878 (ベルリン) 会議... (キプロス) 島領有

(グラッドストーン) 自由党内閣

1882 エジプト占領... (ウラビー) の乱を鎮圧

-> 事実上の保護国化 (正式には1914)

ソールズベリ保守党内閣

植民相 (ジョセフ・カモバレン) ...植民地との連携強化

1899 (南アフリカ) (南ア・ブール) 戦争

...植民地首相 (セシル・ローズ) を支援

自治領拡大...オーストラリア・ニュージーランド・南アフリカ連邦など

1902 (日英同盟) 締結

(Splendid Isolation) (光栄ある孤立) 放棄

(国内) 労働運動の発展

図p255 1884 (フェビアン) 協会設立... (バーナード・ショー・ウェットマン) ら

1900 (労働代表委員会) 結成

1906 (労働党) 成立...マルクス主義をとらず、ゆるやかな改革で社会主義実現

1911 (国民保険法) 成立...労働党の協力を得た自由党内閣で実現

(議会議法) 成立...下院の法案決定権が上院に優先

(アイルランド問題) 自由党政権 (アイルランド自治法) 成立 (1914)

第一次大戦を理由に延期... (ライオン党) は (イスター) 蜂起



フランス (第3共和政)

(対外) 1881 (チュニジア) 占領 1887 (フランス領インドシアン連邦) 成立

資本の海外投資「ヨーロッパの高利貸」

-> 特に (露) へ... (露仏同盟) (1891)

(国内) 独 (ビスマルク) 体制により国際的孤立

右翼軍部の台頭

(ダーランジエ) 事件 (1887~89) ...軍部による第3共和政転覆の陰謀

図p277 (ドレフェス) 事件 (1894~99) ...ユダヤ系軍人のスパイ疑惑

-> (ゾラ・アトル＝フランス) などの活動で軍部は権威失墜

労働運動

1895 仏労働総同盟 (CGT) ...急進的社會主義の実現

(サンティカリスム) ...労働組合のゼネスト

1905 仏 (社会党) 成立・(政教分離法) 発布 -> 第3共和政の安定へ

カネカリスムも激化 ドレフェス事件の経緯から 外務省がカネカリスムを排除